

I 運 營 概 要

1 組織と研究体制

1.1 沿革

- 昭和45年10月 大気、水質等の環境監視、工場・事業場等の発生源監視と公害防止施策に必要な科学的情報、資料を行政機関に提供する調査・研究機関として、「福井県公害センター」が設置された。
当初の組織構成は調整指導と調査研究の2課からなり、衛生研究所庁舎内に設置された。
- 昭和47年11月 現在地に新庁舎が完成し、同庁舎で業務を開始した。
- 昭和48年4月 組織改正により、調整指導、大気、水質の3課となり、組織の拡充と強化がなされた。
- 昭和55年4月 組織改正により、総務、大気、水質、環境監視の4課制となり、公害の調査・研究機関としての組織体制が整備された。
- 平成3年5月 名称を「福井県環境センター」と改めた。
多方面にわたる環境問題に積極的に対応するために、総務、大気、水質、生活環境、環境情報の5課制とし、組織の拡充と強化がなされた。
- 平成7年5月 名称を「福井県環境科学センター」と改めた。
機構改革により管理室、大気科学部(2班)、水質科学部(3班)の1室2部、5班制となった。
- 平成9年4月 機構改革により、班制をグループ制と改め、現在に至る。

1.2 事業方針

環境科学センターは、福井県行政組織規則に基づき、公害の防止その他の環境保全に関する総合的な調査および試験研究ならびに公害についての相談および指導ならびに環境の保全に関する教育および学習の推進等の業務を行い、もって公害防止技術の向上と県民福祉の増進に寄与することを目的としている。

これまで、テレメータシステムによる大気汚染常時監視調査、河川や湖沼等の水質汚濁調査、大気汚染物質による植物影響調査、三方五湖・北潟湖の富栄養化調査、酸性雨調査等、地域における環境調査機関として活動してきた。

近年、生活排水による水質汚濁等の身近な環境問題から地球温暖化等の地球環境問題まで幅広く対応することが求められている。

このような状況の中で、当センターでは、次のような調査および研究に取り組んでいる。

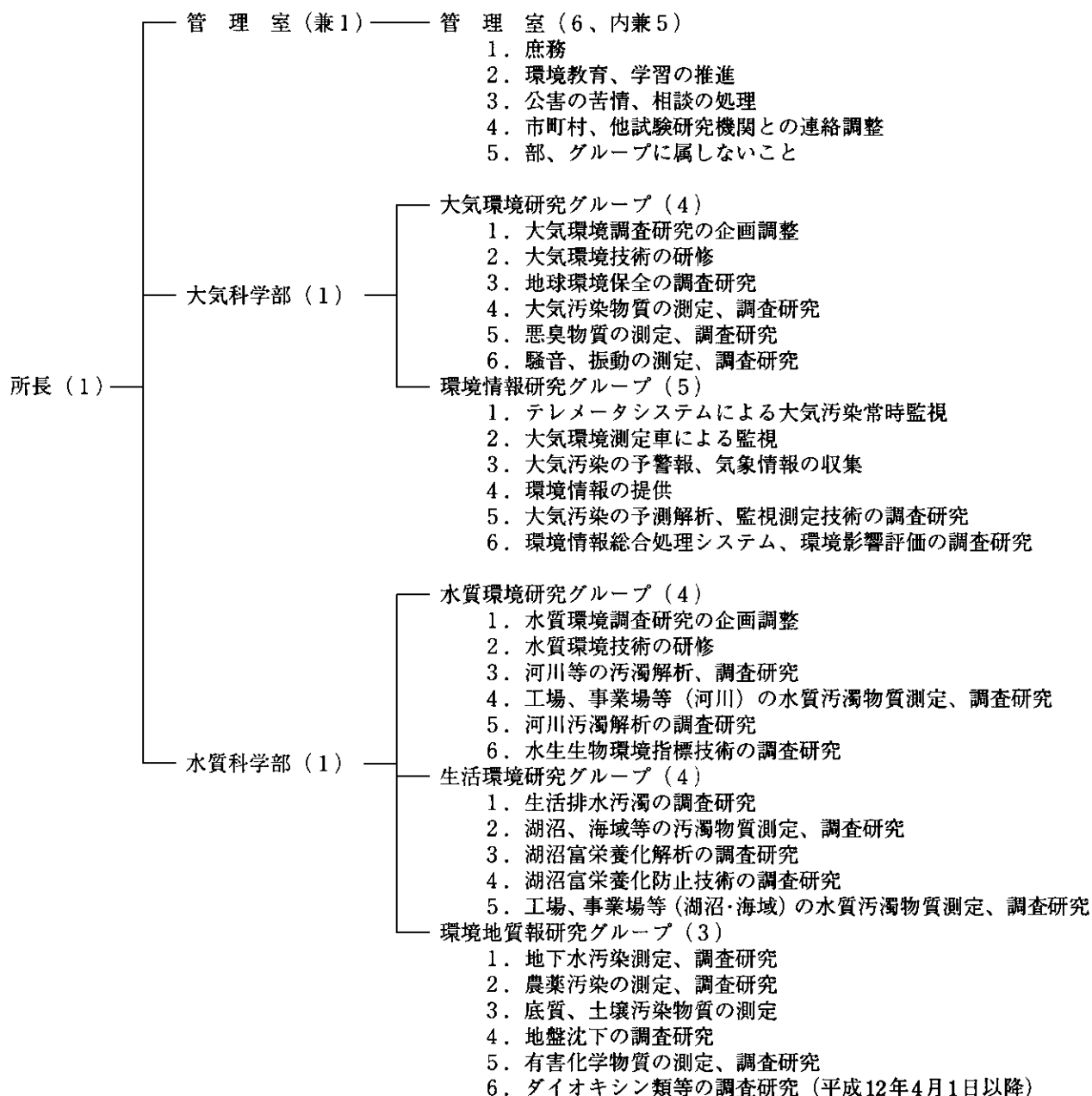
- 1 現在、社会的に問題とされてるダイオキシン類などの化学物質による環境汚染や湖沼の富栄養化による水質汚濁等の地域的な環境問題について、中期的視点に立って環境科学面からの改善を進めるため、環境の把握や将来予測の調査研究
- 2 環境施策の推進や環境教育・学習を推進するため、環境情報を体系的に整備し、わかりやすく効果的な情報提供システムを充実強化する調査研究
- 3 地球規模の環境問題に対応するためには、地域からの取組みと環境における国際協力が重要である。

このため、地域からの対応策や研修生受入れなどの技術・人的交流を進めていく。

1.3 組 織

1.3.1 組織と業務内容

(平成12年3月31日現在)



1.3.2 人 員

(平成12年3月31日現在)

区 分	人 員	内 容							
		所 長	室 長 部 長	管理室	大 気 科 学 部		水 質 科 学 部		
					大気環境研究 グループ	環境情報研究 グループ	水質環境研究 グループ	生活環境研究 グループ	環境地質研究 グループ
事務吏員	5(5)		1(1)	4(4)					
技術吏員	23	1	2		4	5	4	4	3
運 転 手	1(1)			1(1)					
事 補	1			1					
計	30(6)	1	3(1)	6(5)	4	5	4	4	3

注：()は兼務職員数を示す。

1.3.3 業務分担

(平成12年3月31日現在)

所 属 名		職 名	氏 名	主 な 業 務	備 考
		所 長	宮 永 信 幸		
管 理 室		室 長	坪 田 雅 一	室内の総括	本務衛生研究所
		室長補佐	勝 木 信 子	出納員	本務衛生研究所
		主 任	中 村 洋 子	予算・会計	〃
		企画主査	細 江 康 正	会計・管理	〃
		主 事	竹 内 寿 恵	庶務・会計	〃
		運 転 手	前 川 恵 一	運転業務・車輛整備	〃
		事務補助員	青 木 節 子	文献等整理・庶務補助	
大 気 科 学 部		部 長	久 嶋 鉄 郎	部内の総括	
	大 気 環 境 研 究 グループ	総括研究員	石 田 幸 洋	グループの総括	
		主任研究員	植 山 洋 一	悪臭物質調査	
		〃	青 山 善 幸	酸性雨調査	
		研 究 員	熊 谷 宏 之	有害物質調査	
	環 境 情 報 研 究 グループ	総括研究員	飯 田 雅 子	グループの総括	
		主任研究員	八 幡 仁 志	環境情報総合処理システム開発	
		〃	山 田 克 則	環境情報ネットワーク	
		研 究 員	森 英 倫	監視測定技術	
水 質 科 学 部		部 長	内 田 利 勝	部内の総括	
	水 質 環 境 研 究 グループ	総括研究員	白 崎 健 一	グループの総括	
		主任研究員	坪 川 博 之	都市河川調査	
		〃	石 倉 誠 司	事業所調査・水生生物調査	
		〃	山 田 寿 寛	河川調査	
	生 活 環 境 研 究 グループ	総括研究員	高 田 敏 夫	グループの総括	
		主任研究員	加 藤 賢 二	湖沼汚濁解析調査	
		〃	松 崎 雅 之	プランクトン調査	
		技 師	塚 崎 嘉 彦	アオコ除去技術開発	
	環 境 地 質 研 究 グループ	総括研究員	前 川 勉	グループの総括	
		主任研究員	坊 栄 二	地下水汚染調査	
		技 師	西 澤 憲 彰	農業調査	

1.3.4 人事記録

年 月 日	職 名	氏 名	事 項	年 月 日	職 名	氏 名	事 項
H 12.4.1	主任研究員	山口 慎一	環境政策課から転入	H 12.4.1	主任研究員	坊 栄二	環境政策課へ転出
	主 任	川上 一	県立大学から転入		〃	石倉 誠司	福井健康福祉センターへ転出
	〃	木村 安正	福井土木事務所から転入		〃	松崎 雅之	栽培漁業センターへ転出
	技 師	中 浩美	環境政策課から転入		主 任	中村 洋子	坂井県税事務所へ転出
	〃	鈴崎 有紀	栽培漁業センターから転入		企 画 主 任	細江 康正	総合福祉相談所へ転出

1.4 予 算

平成11年度歳出決算書（一般会計）

科 目	予算令達額	支出済額	不用額	説 明				備 考
				節	予算令達額	支出済額	不用額	
	円	円	円		円	円	円	
(款)衛生費	253,139,587	253,139,587	0					
(項)環境衛生費	253,139,587	253,139,587	0					
(目)環境衛生経務費	100,000	100,000	0	児 童 手 当	100,000	100,000	0	
(目)公害対策費	253,039,587	253,039,587	0	共 済 費	1,125,367	1,125,367	0	
				賃 金	3,990,200	3,990,200	0	
				報 償 費	2,028,836	2,028,836	0	
				旅 費	2,236,280	2,236,280	0	
				需 用 費	59,299,061	59,299,061	0	
				消 耗 品 費	35,406,542	35,406,542	0	
				燃 料 費	402,655	402,655	0	
				食 糧 費	42,140	42,140	0	
				印刷製本費	1,021,206	1,021,206	0	
				光 熱 水 費	3,122,076	3,122,076	0	
				修 繕 料	19,304,442	19,304,442	0	
				役 務 費	2,268,669	2,268,669	0	
				通 信 運 搬 費	1,016,520	1,016,520	0	
				手 数 料	1,252,149	1,252,149	0	
				委 託 料	98,777,855	98,777,855	0	
				使用料及び賃借料	25,561,761	25,561,761	0	
				工 事 請 負 費	2,572,500	2,572,500	0	
				備 品 購 入 費	54,388,958	54,388,958	0	
				負担金補助及び交付金	790,100	790,100	0	
(款)商工費	25,807,280	25,807,280	0					
(項)鉱工業費	25,807,280	25,807,280	0					
(目)中小企業振興費	25,807,280	25,807,280	0	旅 費	260,280	260,280	0	
				需 用 費	1,418,000	1,418,000	0	
				消 耗 品 費	1,418,000	1,418,000	0	
				備 品 購 入 費	24,129,000	24,129,000	0	
合 計	278,946,867	278,946,867	0		278,946,867	278,946,867	0	

1.5 施設の整備状況

1.5.1 平成11年度新規購入備品

備 品 名	主 な 用 途	メーカー名	型 式	台数
環境情報総合処理システム機器	環境情報の提供	富士通 他	GP518W1N3	1 式
超音波・オゾン発生装置	アオコの除去	マリン技研	—	1 式
水流発生装置	アオコ対策	福日機電	—	2
水域隔離シート	アオコ対策	五洋建設	—	1 式
流向流速計	アオコ対策	東邦電探	CM-2SX	1

1.5.2 主な備品整備状況

備 品 名	主 な 用 途	メーカー名	型 式	台数
ガスクロマトグラフ質量分析装置	農薬等化学物質の同定定量	島津製作所	QP3000	1
〃	有機塩素系化学物質の同定定量	横河アナリティカルシステム	HP-5971A	1
重油硫黄量測定装置	重油中の硫黄分測定	田中科学機器	RX-500SA	1
1/3オクターブ実時間分析器	騒音・振動の分析	リオン	SA-27	1
緩衝能測定装置	緩衝能の測定	東亜電波	AUT-301 β	1
分光光度計	無機イオン・クロロフィルの測定	日立堀場	U-3500	1
赤外分光光度計	有機化合物の同定定量	島津製作所	IR-470	1
蛍光分光光度計	蛍光性化学物質の微量測定	日本分光	FP-550A	1
原子吸光光度計	金属元素の定量分析	日本ジャーレルアッシュ	AA-890	1
I C P 発光分光分析装置	金属元素の定量分析	パーキンエルマー	OPTIMA3000XL	1
水質自動測定器オートアナライザー	窒素・リンの自動分析	A L P K E M	フローソリューション 3590	1
粒度分布測定器	土壌等の粒度分布の測定	島津製作所	SA-CP2	1
A T P フォトメータ	プランクトンの活性度測定	ピコライト	6100	1
ガスクロマトグラフ	悪臭成分の分析	島津製作所	GC-14BPF	1
〃	P C B 等の分析	ヤナコ分析工業	G6800	1
〃	有機溶剤の分析	島津製作所	GC-14APF	1
高速液体クロマトグラフ	農薬の分析	〃	LC-10A	1
イオンクロマトグラフ	酸性雨の成分分析	横河アナリティカルシステム	IC-7000D/Z	1
水銀分析装置	水銀の分析	日本インスツルメンツ	マーキュリー SP-3D	1
藻類培養試験器	アオコの培養	伊藤製作所	AGP150RL	1
〃	アオコの培養	〃	AGP126L	2
煙道排ガス測定装置	煙道排ガスの測定	石 橋 科 学	NG-Z-4D	1
発生源用水銀捕集分析装置	水銀の分析	日本インスツルメンツ	AM-2	1
可搬型微風向風速計	風向・風速の測定	横河ウエザック	ウエザーサーバイ	1
光学顕微鏡	プランクトンの同定定量	オリンパス	BHS-323	1
微分干渉顕微鏡	プランクトンの同定定量	〃	BHS-373N	1
倒立型システム顕微鏡	プランクトンの同定定量	〃	IMT-2	1
試料前処理装置	大気中の重金属の低温灰化	マイルストーン	MSL-1200MEGA	1
大気中揮発性有機化合物分析装置	大気中揮発性有機化合物の分析	島津製作所	QP5050A	1
大気採取装置・前処理装置	大気の採取・前処理	ジールサイエンス・ パーキンエルマー	ATD400 等	1 式